

# 市役所の代表電話は☎43-1111です

(開庁時間は午前8時30分～午後5時15分です)  
(閉庁日は土曜、日曜、祝日、年末年始です)

## 第6回市民公開講座

東埼玉総合病院、堀中病院、北葛北部医師会、幸手ロータリークラブでは、年3回、市民公開講座を開催しています。

地域のみなさんの健康増進のため、病氣予防についての医師による講演、医療スタッフによる健康測定、各種相談を行います。

開演(開場は1時20分)

ところ ウェルス幸手2階

### 内容

#### ▼第1部

医療講演会「足の血管の病気について」閉塞性動脈硬化症と下肢静脈瘤」

#### ▼第2部

医療スタッフによる相談、健康測定(ロコモ度テスト、骨密度測定、血管年齢測定など)

※健康測定の一部は定員あり

入場料 無料(事前申込み不要)

問合せ 東埼玉総合病院地域連携課 ☎(40)1318

## 地域医療ネットワークシンポジウム

地域医療ネットワークシステム「とねっと」は、平成24年7月の本格稼働から約2年半が経過しました。

すでに参加者は、2万3千人を超え、診療や救急搬送の現場で活用されています。「とねっと」の活用状況をみなさんにお知らせするため、県と共催でシンポジウムを開催します。

とき 3月7日(土)午後1時30分  
開演(開場は1時から)

ところ 羽生市産業文化ホール(羽生市下羽生876)

### 内容

▼第1部/基調講演  
テーマ ことな利点のある「とねっと」みんなで育てよう!

講師 平野 博之氏(羽生市医師会長)

▼第2部/パネルディスカッション  
テーマ 「とねっと」利活用によるメリットとより発展させるために

司会 伊関 友伸氏(城西大学経営学部教授)

参加費 無料(事前申込み不要)

主催 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会

問合せ 健康増進課 ☎(42)8421

☎(42)2130

## 埼玉県政サポーター募集

県では、インターネットを活用して、県政の課題について意見をお聴きし、県政に反映させるため、「埼玉県政サポーター」を募集しています。県の現在や将来について考え、県政に参加してみませんか?

対象 満16歳以上でインターネットの閲覧やメールの利用が日本語でできる人(議員、首長、常勤の県職員を除く)

申込み 県広聴広報課ホームページ  
(<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/supporter/>)を参照の上、応募してください。

問合せ 県広聴広報課 ☎048(830)2850

## 大学の開放授業講座 前期受講生募集

県では、県内や近隣の16大学と協力し、55歳以上のみなさんを対象に、一般の学生と一緒に学んでいた機会を提供します。

期間 おおむね4月～8月

ところ 県内15大学、都内1大学

対象 55歳以上の県民

科目 経済政策、政治学、社会福祉、語学など

募集開始 2月1日(日)から

※申込み方法や実施内容、締切日などは、各大学により異なります。詳細は県ホームページ(<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/4-1ikarento.html>)をう確認ください。

## 埼玉県労働委員会

問合せ 県高齢介護課 ☎048(830)3263

解雇・雇止め、賃金引下げ、パワハラ、団体交渉拒否など、職場で困ったことはありませんか?

労働委員会は、公平な立場で労働者や労働組合と会社とのトラブル解決をお手伝いする県の機関です。

※手続きは簡単無料です。ぜひ、ご利用ください。

問合せ 県労働委員会事務局 ☎048(830)6465

## こんにちは県議会です

テレビ埼玉/日曜日午前10時～10時15分

県議会の定例会の様態や委員会活動など、さまざまな情報をタイムリーに放送しています。また、番組の最後には、県産品などが当たるプレゼントコーナーもあります。※放送スケジュールなどの詳細については、県議会ホームページ(<http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html>)を参照してください。

問合せ 県議会事務局政策調査課 ☎048(830)6257・FAX 048(830)4923

## 守り伝えよう! みんなの文化財 1年に2度の正月

現在の暦は、一年を365日とする太陽暦(新暦)です。この新暦が我が国で採用されたのは明治5年(1872年)のことです。しかし、長年

使った慣れた、それまでの太陰太陽暦(旧暦)は、生活に深く浸透していたため、明治・大正・昭和になっても日常生活は旧暦で行われ、それは幸手でも同じでした。

そうした状況は、戦後になっても変わらず、当時の役場は新暦への切り替えを積極的に進めようとはしました。

今回、その様子を幸手町の広報紙の記事から拾ってみました。

「十数年前に新暦を用いて正月をやった処、結局二回やっちゃったという喜劇となり…その時期の話の一つとなっている…」 (昭和27年1月号)

「当地方の慣習のうち一番複雑で不経済なのは、正月」の存在で、勿論正月でやった他に月おくれ正月も行なっている家庭が大半なようである。町教育委員会で、この不経済と不合理を考えて明30年から「新正月」の

